

令和6年度

第2回

士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議

議案

顛末

日時：令和7年3月28日(金)

午後2時30分～3時20分

会場：市役所第2庁舎3階 会議室301

会 議 次 第

1 開 会

[増田企画課長]

- 令和6年度第2回士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議を開会する。
- 開会に先立ち、人事異動で新たに委員となられた北海道銀行士別支店の野尻支店長に委嘱状を交付させていただく。
- 市長が野尻委員の席に移動し、氏名を読み上げながら辞令を手渡す。
- 委員は、その場で受け取る。(辞令交付者：市長、補助者：皆川主任主事)

[増田企画課長]

- 本日の欠席委員は、千葉委員、神田委員、笹村委員、佐藤委員の4名である。

2 挨拶

[増田企画課長]

- 渡辺市長から挨拶をさせていただく。

[市長]

- 令和8年度から2期目となるまちづくり総合計画の策定を本格的に策定に入っている。市民アンケート、小中高生からは将来どのような町になってほしいかといった声を聴く取り組みを進めてきた。
- 7年度からは具体的に25年後を見据えた士別市のありたい姿を形に、策定業務を進めていく。
- 昨年11月に事業アセスメント・公共施設マネジメントに基づく施設の統廃合を含めた提案に対し、市民のみなさまからご指摘やご意見をいただいている。これらを受け止めながら、どのような形で進めていくのが将来の士別のためになるかを重点において7年度は取り組みを加速化させていく。
- 財政が厳しく市民に心配をおかけしている。人口減少が進んでいく自治体は財政が厳しくなっていくことはわかりきっている。しっかりと持続的な行政サービスを継続していかないといけない。地方交付税交付金をいただいている自治体であるが、この制度が適切なのかという点も含めて地方の声を国に届けていくことも重要だと考えている。
- 7年度は様々な計画の更新期間であり、すべてにおいて過渡期だと感じている。今後も皆様方の意見を聞きながらまちづくりを進めてまいりたい。
- 委員のみなさまから忌憚のないご意見をいただきたい。

[企画課長]

- はじめに本日の資料の確認を願う。

○本戦略会議の議長・副議長について、議長には、士別商工会議所の奈良委員、副議長には、本日欠席となっておりますが、事前に北ひびき農業協同組合の笹村委員にお願いしたい。

○それでは、奈良議長からご挨拶願いたい。

[議長]

○市民として士別の財政状況を聞いている。非常に心配している方もたくさんいるのではないかと思う。この会議が不安払しょくの一端を担えるような会議になればと思っている。

○委員のみなさんから忌憚のないご意見等いただいて、実りある会議としたい。

4 報 告

(1) 企業版ふるさと納税の寄附実績について

[議長]

○それでは、(1) 企業版ふるさと納税の寄附実績について、担当者からの説明を求める。

[企画課係長]

○企業版ふるさと納税の寄附実績について、資料1に基づき説明

○ただいまの説明内容について、ご質問・ご意見をいただきたい。

[委員]

○市長のトップセールス活動によってハーフマラソンに寄附をいただいている。市長はハーフマラソンの実行委員長であるためそのような活用をしているのか。

○朝日のサマージャンプについて、私が実行委員長となっていることから、ハーフマラソンと同じ形で寄附を集めることは問題ないか。

[市長]

○ハーフマラソンに企業版ふるさと納税を活用しているのは、市長が実行委員長だからではなく、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の3つの柱に掲げているものに対する市への支援であり、直接実行委員会で受けることにはならない。国の制度上、市で受領してその後各事業へ分配となる。

[委員]

- 全市的にハーフマラソンと同様の取り組みとしていったほうが、寄附が集まりやすいのではないか。

[市長]

- 企業版ふるさと納税は3年間延長となった。市外企業については企業版ふるさと納税は活用可能、朝日のジャンプイベントもスポーツイベントであるため、それに対する寄附ということで活用可能。周知も含めご案内する。

[企画課副長]

- 企業版ふるさと納税とスポーツ大会の広告協賛とは取扱いが異なる。企業版ふるさと納税は企業名等PRしない、ゼッケンスポンサーとはならない等があるため補足する。

[大橋部長]

- 取扱い等確認して連絡する。

(2) 企業版ふるさと納税の制度延長見込みと基金条例改正について

[議長]

- それでは、(2) 企業版ふるさと納税の制度延長見込みと基金条例改正について、担当者からの説明を求める。

[企画課係長]

- 企業版ふるさと納税の制度延長見込みと基金条例改正について、資料2に基づき説明

- ただいまの説明内容について、ご質問・ご意見をいただきたい。

—質問・意見等なし—

5 議 事

(1) 第2次士別市まちづくり総合計画及び新・人口ビジョンについて

[議長]

- 次に、(1) 第2次士別市まちづくり総合計画及び新・人口ビジョンについて、担当者からの説明を求める。

[企画課副長]

○資料3、資料4について説明

[議長]

○ただいまの説明内容について、ご質問・ご意見をいただきたい。

[議長]

○基本構想の『ありたい姿』と『人口ビジョン』を横並びにする理由は。

[企画課副長]

○これらは長期ビジョンとして、2050年を見据えて策定を進めている。ありたい姿と人口ビジョンを両方達成していかなければならないと考えていることから、目標を達成するため、長期ビジョンとして2本立てとしている。

[議長]

○今までの人口ビジョンは思いが強すぎて当たっていなかった。今回のビジョンは厳しめに見ているか。

[企画課長]

○現計画のビジョンは2050年に国として1億人を維持するという前提のビジョンであり、目標値は実態と乖離している。実態に沿ったビジョンを作らないと行政の無駄が生じる。

○2050年の人口の目標値は国勢調査人口で8,600人、厳しく推計しているわけではないが、市の実態に沿ったずれの少ない推計方法を用いており、結果として厳しい人口推計となっている。

[委員]

○『わがまち“しべつ”の未来を語る会』で話をしていただきたいと思う。自治会役員会で検討したい。

[市長]

○そういった機会をいただけるなら、ぜひお願いしたい。

[総務部長]

○秋から冬にかけて、総合計画の素案がまとまる予定である。

[委員]

○総合戦略を総合計画内の実行計画に位置付けているが、目標値と概要のみ載せるのか。総合戦略を別冊として発行するか。

[企画課副長]

- 総合戦略である以上、目標やKPI等の設定は必要となってくる。総合計画の本編内に総合戦略を掲載する。別冊とすることは考えていない。

[委員]

- 総合計画への内包後、この会議体はどうか。

[総務部長]

- 総合計画への内包後、戦略会議は解散・廃止を想定している。内包後は振興審議会で検証を行う。

[委員]

- 現戦略のKPI等はそのまま持っていくか。

[総務部長]

- KPIの内容は少し変更を考えている。その協議をこの会議体で行う予定。

[企画課長]

- 現戦略のKPIについて、廃止した事業もある。人口減少に資するものでないKPIもある。今回の包含にあたって、その辺りは見直したい。

5 その他

[議長]

- 次に、「5 その他」であるが、事務局から何かあるか。

[事務局]

- なし。

[委員]

- 会議資料を紙で事前送付いただいているが、データでいただくことは可能か。

[企画課係長]

- データで提供可能。希望のある方はメールアドレス等送信先を教えてください。
→次回会議以降、出欠報告にデータ資料提供希望及びメールアドレス等記載欄を設けて対応する。

6 閉 会

[議長]

○それでは、これで「士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」を終了する。